

福岡会場

◆会期 / 平成 28 年 1 月 1 日（金・祝）～ 2 月 14 日（日）

◆会場 / 九州国立博物館 福岡県太宰府市石坂 4-7-2（太宰府天満宮横）

◆開館時間 / 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

◆休館日 / 1 月 12 日（火）、1 月 25 日（月）、2 月 8 日（月）

◆観覧料
一 般 1,400 円（1,200 円）
高大生 900 円（700 円）
小中生 500 円（300 円）
*（ ）内は前売りおよび団体料金（有料の方が 20 名以上の場合）
*障がい者とその介護者一名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

◆主催 / 九州国立博物館・福岡県、アフガニスタン・イスラム共和国情報文化省、TNC テレビ西日本、西日本新聞社

◆共催 / 九州国立博物館振興財団

◆問い合わせ先 / 050-5542-8600 （ハローダイヤル 午前 8 時～午後 10 時／年中無休）

東京会場

◆会期 / 平成 28 年 4 月 12 日（火）～ 6 月 19 日（日）

◆会場 / 東京国立博物館 表慶館 東京都台東区上野公園 13-9

◆開館時間 / 午前 9 時 30 分～午後 5 時
（土・日・祝休日および 5 月 2 日は午後 6 時まで、金曜日は午後 8 時まで）※入館は閉館の 30 分前まで

◆休館日 / 月曜日 *ただし、5 月 2 日は開館

◆観覧料
一 般 1,400 円（1,200 円 / 1,100 円）
大学生 1,000 円（800 円 / 700 円）
高校生 600 円（400 円 / 300 円）
中学生以下は、無料です。（ ）内は（前売り / 団体）料金です。*団体は 20 名以上。
*障がい者とその介護者一名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

◆主催 / 東京国立博物館、アフガニスタン・イスラム共和国情報文化省、産経新聞社、フジテレビジョン

◆問い合わせ先 / 03-5777-8600 （ハローダイヤル 午前 8 時～午後 10 時／年中無休）

 本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。

作品は全てアフガニスタン国立博物館蔵 ©NMA/Thierry Ollivier

▶ 開催期間 5 月 12 日（火）～ 6 月 19 日（日）

とくべつてん
特別展
おう こん
黄金の
アフガニスタン
まも ひほう
守りぬかれたシルクロードの秘宝

こどもガイド

Hidden Treasures from the National Museum, Kabul
Junior Guide



No.108
おひつじぞう
牡羊像
いっせいき
(1世紀)

ほくはムフロンという
ひつじ なかま
羊の仲間なんだ！
おうこん
「黄金のアフガニスタン」展を
しょうかい
紹介するムフッ！

ムフロンくん



4
7
4



クイズを解きながら
アツカニスタンを知らう！

これは町の遺跡から出てきたもの。町の壁に取りつけられた銅で、昔は口からあるものが出ていました。それは何でしょう？



- ① 水 みず
- ② お金 かね
- ③ けむり

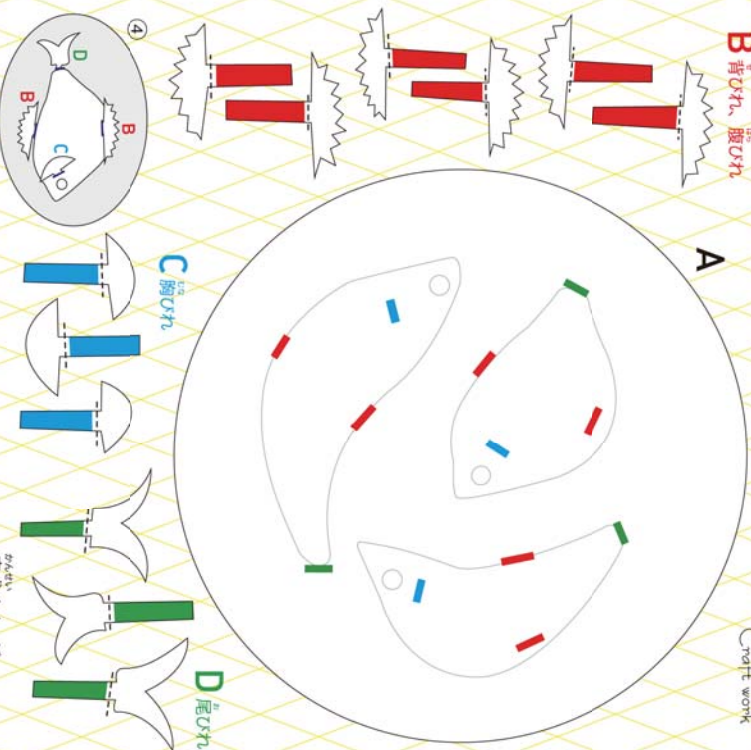
これは靴の金具です。デザインは中国風で、
 ① 乗り物にはフツガニスタンにはない
 ② ある植物が使われています。どんな植物でしょう？



①のもの ①のひとよく
乗り物に乗っている人の服も
ちやうどくわい
中国風だムフ！

魚のちゅうの田舎をつくろう!

B 背^せびれ、腹^{はら}びれ



「魚のちようの円盤」の作り方

- ①魚やひれに好きな色やもようをつける
②Aの赤、緑、青の部分をカッターで切る
③A、B、C、Dを切りとる
④B～Dを②で切った所に差しこんで、点線でおる
⑤差しこんだ先端にクリップをつけて完成!



0.3

この王冠の持ち主は移動しながら生活する遊牧民。
王冠には遊牧民らしいある工夫がされています。
それは何でしょう？



- ① 洗濯物干しになる
せんたくものほ
- ② 食べられる
た
- ③ 分解して小さくなる
ぶんかい　ちい



Q.4

この作品のモデルは何ゾウ？



No.152 象形家具脚部 (1世紀)

0.5

これは魚うなぎのもようがついた円盤えんばんです。
魚うなぎにはあつと驚おどろく仕掛けしかけがありますか？
どんな仕掛けしかけでしょう？



←お家に帰って工作しよう!

まずはアフガニスタンについて
紹介するムフッ！



ムフロンくん



No.128
ハート形耳飾 (1世紀)



No.80
イルカに乗るキュービッド文留金具 (1世紀)

アフガニスタン について

About Afghanistan

むかし、ユーラシア大陸には
「シルクロード(絹の道)」という道がありました。
人々はその道を通して、
東の端から西の端まで物を運び、
売り買いをしていました。
アフガニスタンはそのシルクロードの
ちょうど真ん中であって、
いろいろな地域の人や物、
文化が集まる土地だったのです。



No.143
首飾 (1世紀)

「黄金のアフガニスタン」展では、
アフガニスタンと交流のあった
いろいろな地域の特徴あるものが
展示されているムフッ！



No.135
アフロディーテ飾板
(1世紀)

